

令和8年8月3日（月）14:00-16:00

斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水
鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会資料



石川県能登地域でのトキの野生復帰について



環境省自然環境局野生生物課
希少種保全推進室



佐渡島でのトキ保護増殖の経緯及び野生下推定個体数の推移



- 佐渡島における野生復帰の取組の結果、野生下のトキの個体数は増加。
- 野生下に生息するトキのほぼ全個体が佐渡島内に生息している。
- 近年は、おおむね500羽程度で維持されている。

トキ保護増殖事業の経緯

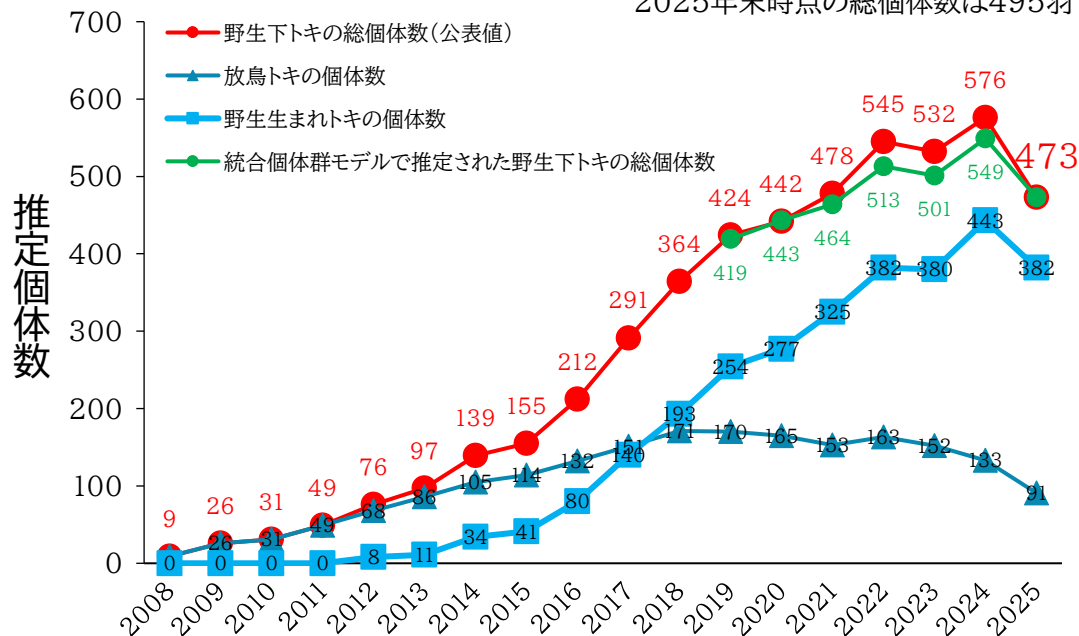
○ 日本産トキの絶滅

- ・ 1981年に佐渡島で最後の5羽を全て捕獲→野生絶滅
- ・ 1999年に中国から贈呈されたペアによる繁殖が成功。
- ・ 2003年に日本産の最後のトキ「キン」が死亡→日本産トキの絶滅
- ・ 中国から計7羽のファウンダー提供

○ 佐渡島での野生復帰

- ・ 2008年に新潟県佐渡島で、飼育繁殖したトキの野生復帰を開始。
- ・ その後の継続的な放鳥、野生下での順調な繁殖により、500羽に到達。
- ・ 近年では、島内の生息密度の高まりにより、放鳥したトキの初期生存率の低下や、繁殖期の個体間の干渉の増加等が原因となって、繁殖率が低下していると推測される。

※従来の計算方法の場合
2025年末時点の総個体数は495羽



野生下でのトキ個体数の推移



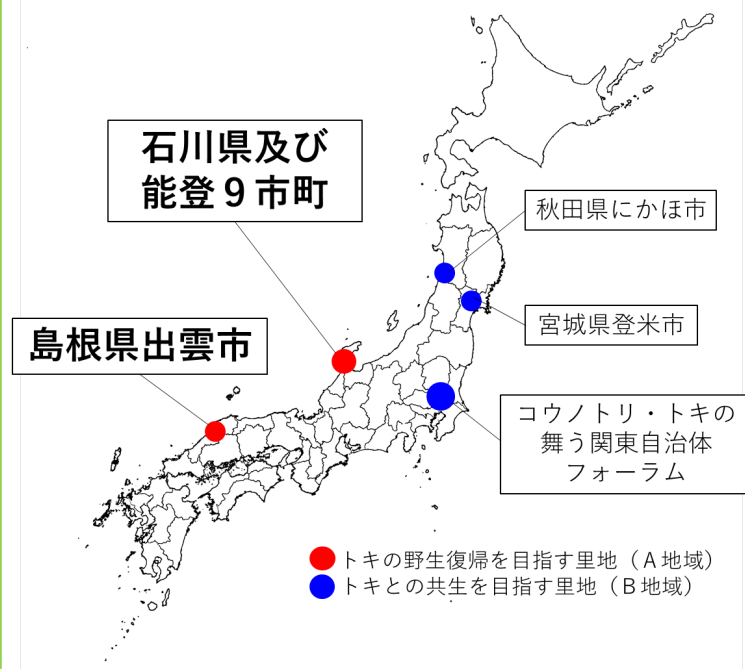
1999年に贈呈された洋洋（ヤンヤン）と友友（ヨウヨウ）

本州での野生復帰に至る経緯

本州での野生復帰に向けた取組

○ トキと共生する里地づくり取組地域

- ・環境省では、令和4年に本州でのトキ受入れに意欲がある取組地域を公募し、5地域を選定。
- ・**石川県・能登地域9市町**、及び**島根県出雲市**は「トキの野生復帰を目指す里地」に選定。



トキと共生する里地づくり取組地域 位置図

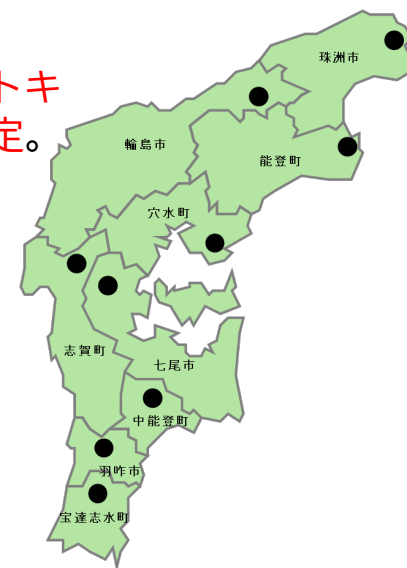
石川県・能登9市町における野生復帰に向けた取組

○ 野生復帰に向けたロードマップ、モデル地区の設定

- ・令和4年に「**能登地域トキ放鳥推進ロードマップ**」を策定。
- ・同年、トキの餌場環境整備を行う「**トキ放鳥推進モデル地区**」を9市町に設定。

○ 生息環境・社会環境の整備

- ・能登地域の水稻作付面積の約6割で、化学肥料・農薬を慣行より3割以上低減した水稻栽培を実施。
- ・トキの餌生物の生息状況調査を能登9市町にて実施。
- ・5月22日を「いしかわトキの日」に制定、普及啓発イベントを継続。
- ・県内小学生に環境教材を配布。「いしかわトキこども検定」や「出前講座」を実施。
- ・能登の米のブランド化推進等



「トキ放鳥推進モデル地区」一覧



石川県能登地域での放鳥

「能登地域におけるトキ放鳥」の決定

- ・令和7年2月の第26回トキ野生復帰検討会において、石川県及び能登9市町における野生復帰の取組が評価されるとともに、石川県における今後の放鳥計画及びモニタリング計画が了承された。
- ・これを受け、環境省は、令和8年度上半期中を目処に能登での放鳥を実施することを決定。

放鳥場所等の決定

- ・放鳥場所は、能登地域トキ放鳥受入推進協議会により羽咋市南潟地区（邑智潟周辺）に決定。
- ・放鳥式典を、能登地域トキ放鳥受入推進協議会と環境省が共同で開催することとした。

能登地域での放鳥の実施（本州初）

- ・放鳥候補個体は約3カ月間、佐渡トキ保護センターにて順化訓練を実施（飛翔能力や採餌技術等の取得）。
- ・5月30日に佐渡から能登地域にトキを移送。
羽咋市南潟付近において、5月31日にハードリリース方式で8羽、
6月14日に仮設ケージからのソフトリリース方式により10羽の放鳥を実施。
- ・5月31日に、放鳥記念式典及び放鳥式を実施。



放鳥記念式典の様子



放鳥式の様子



仮設ケージからのソフトリリースの様子

放鳥後の生息情報の収集方法等

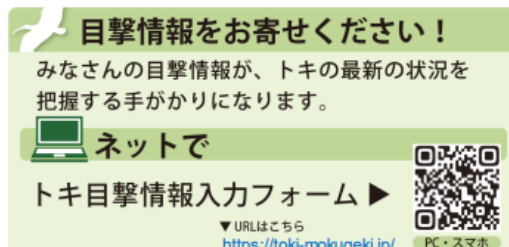
本州における分布の把握

- ① 放鳥初期には環境省が全個体に追跡機器を装着し、遠隔でおおまかな生息場所と移動状況を把握。

足環型追跡機器



- ② 上記情報を基に、取組自治体が地域で構築した「モニタリングチーム」により、詳細な情報（餌場環境、行動、繁殖状況等）を把握していく。
- ③ 一般市民、バードウォッチャー等からの情報の収集



「いしかわ版 トキのみかた」

情報をとりまとめ、本州における生息状況を把握するとともに、今後の放鳥計画、生息環境整備に活かす。

出雲市における今後の計画

- ・ トキの野生復帰に向け、自然環境整備と社会環境整備の取組が精力的に行われている。
- ・ これらの出雲市の取組についてもトキ野生復帰検討会で評価され、今後の放鳥計画及びモニタリング計画が了承。それを受け、環境省は令和9年度上半期に放鳥を行うことを決定。
- ・ 初回放鳥場所は、出雲市稗原地区に決定。

トキ保護増殖事業の最終目標



トキは里地里山のシンボル種

- ・ 日本国内で成熟個体1000羽の生息
 - ・ 国内で複数の個体群の確立を目指す
 - ・ 絶滅 → 「絶滅危惧」 → 将来的には「普通種」へ
- 同時に

トキが生息できる環境を維持、拡大していくことで、

○生物多様性・自然環境の保全

に貢献していく

○里地里山の地域振興